

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模
 多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料
 老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹
 介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひ
 ら◆鍼灸てのひら治療院 ◆酸素BOX



vol. 262通信
 R4年6月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》

☆ナイス・ケア (訪問介護/介護保険)
 ☆ナイス・デイ (通所介護/定員 10名)

月	火	水	木	金	土
6	8	5	7	5	6

☆ナイス・ホーム(定員 17名、現在登録者 13名)
 ☆愛宕の家(定員 17名中入居者 12名)
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)
 ☆サポート・ワン(在宅ヘルパー/自費)

《6月行事予定》

20日 避難訓練

※少しずつ外出等は行っ
 ています、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、密になる行事は自粛
 しています。

※今後の行事予定も状況に
 合わせて変更する可能性
 があります。ご了承さ
 さい。

《営業お知らせ》

喫茶てのひら

営業日：月・火・木・金・土・日/水曜定休
 時間：9:00-12:30(モーニング営業のみ)

※入店制限(10名まで等)あり

酸素BOX

営業日：月・火・木・金・土/水日定休
 時間：9:00-17:00 完全予約制

★コロナ禍により営業休止★

- ・打太鼓(和太鼓)・コーラス
 - ・ナイス・キッズ (学童・託児)
 - ・鍼灸てのひら治療院
- ～詳細はお問い合わせ下さい～



玉ねぎやどくだ
 み・・・、乾かしたり、
 並べたり・・・忙しく
 しています♪

登録家政婦、介護スタッフ、看護師大募集！

人間同士、精一杯向き合うことを大切にしたい/S・O・S

愛宕の家に入居され、約6年半。入院中に面会に行った時、顔を見た瞬間、『なんでもっと早く迎えに来てくれないの！』と怒った顔で言われたことを思い出します。

令和4年2月5日、とてもとてもきれいな顔でとても穏やかに息を引き取られました。こんなにきれいな人だったの？と思うくらい、きれいな顔の姿は、私達の心が救われました。

生前、『愛宕の家で最期までいますから！』と言ってくれていました。残された者だから言えるのですが、『よい、時間を一緒に過ごせたよね。』と私達は感じています。勿論、長い入居生活、色々すったもんだ、ありましたよね。それも含めて、ご本人とご家族と、色々なことを一緒に考えました。どうすることが本人にとって、家族にとって、そして私達にとって良いことなのか・・・。

一つの空間にいる生身の人間同士、精一杯向き合ってこられたのではないかと思います。

本当に長い間、お世話になりました。職員一同、心よりお礼申し上げます。(M・T)

先月に続き、ご家族からのご寄稿を紹介させていただきます。→

母からの三通の手紙

「愛宕の家」にお世話になり7年が過ぎました。その母はこの春に満97歳で他界しました。

私が東京勤務の為、土曜と日曜にしか会えませんでした。手土産を持って行くと喜んでくれました。コロナ禍では、会えないこともあり。いつもは互いの一週間の出来事をあれやこれやと楽しく話して過ごしました。時にはケンカになることもありましたが、今となってはそれも楽しい日々でした。

残された品々の中に便せんにはさまれた私への三通の手紙が出てきました。手紙には、日ごろ話すことのなかった母の胸の内が、衰えて震える手で綴られていました。プライベートな手紙ですが、施設の方の勧めもあり、親が子に対してどう思っていたかの一例として紹介させていただくこととなりました。三通の内の一通です。

「〇〇さんへ 母より

愛宕の家に来て一年が過ぎました。毎週面会に来てくれてありがとう。一度も母らしいことはしてないけれど、こんな母に愚痴も恨み言も言わないで、いつも笑顔で来てくれました。面会のたびに楽しい話や写真や私の好きなお菓子を持ってきてくれました。(中略)いつか別れが来ます。私がいなくなれば一人の生活になります。私の言った一言であなたを不幸にしまいました。悔やんでも悔やみきれません。いまさら後悔しても許してはもらえません。ただただあなたには母というだけでした。ごめんなさい。本当に長い間ありがとう。あなたの笑顔を忘れません。ありがとうございます。」

息子の私を「さん」付けで呼んでもらったことは初めてで驚きです。母が謝るということも初めてです。私を不幸にしたという母の一言が・・・私には思い当たりません。私は、幸せです。正直に話してもらえば、こんなに悔やむこともなかったと思います。なぜ手紙が出されなかったのか・・・他人に弱みを見せたくない母の唯一の抵抗だったかもしれません。やはり本音で話し合っていれば良かったと、私の方が後悔をしています。この三通の手紙は、私の生涯の宝物となりました。

ちょっと足を伸ばして蟹江の公園へ。水辺の風は心地がいいものです。池の中には何かいました??

6月といえばアジサイ。車窓からの眺めでしたが、梅雨を感じる風景にうっとり。

自宅と施設 / ナイス・ケア

先日、別々のお宅で、利用者さんとご家族から似たような質問がありました。

「私はこれから先も家で暮らしたいと思っている。施設へ入らなくてもいいよね？」

「自分が元気なうちは夫婦一緒に家で暮らしたいと思っているけど、他の家族はもう家では限界じゃないかと言う。皆さんどうしてみえるんだろう??」

必要な環境をその時の状態に合わせて整えられれば最期まで自宅で過ごす事は出来るのではないのでしょうかと答えました。住み慣れた家で暮らすという事は、何よりも安心に繋がるのではないかと思います。

しかし、介護が必要になった時、自宅でサービスを整えたとしても難しいこともでてくるでしょう。ご本人やご家族の精神的、肉体的な負担も考えられます。

愛宕の家から自宅へ帰られたAさん。帰られた当初はこんなに生活できる力があつたのだと気付かされ、心から帰られて良かったと感じました。が、最近は訪問すると「ああ来てくれてよかった」「私どうしたらいい?」と聞かれることが度々です。愛宕の家ではきちんと食べ、何かあっても不安になって困ることはなく、いつとなく話す事ができ、24時間スタッフが居ます。

自宅には自宅の良さ、施設には施設の良さがあります。皆さんにとって、施設か自宅か正解はわかりません。私たちは、場所を問わず、生活の習慣やご本人らしさを大切に、訪問介護でできるお手伝いを最大限していきたいと思ひます。(K・N)

《編集後記》

暑い季節になってきました。こまめに水分補給をして体調を整えましょう (Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

6月の発送部数 95部